

【件名】 改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める

意見書を国に提出することに関する陳情

【要旨】 改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を国が実行するよう

市議会から意見書を提出することを求めます。

【理由】 令和 5 年 6 月 2 日、改正マイナンバー法が成立し、令和 6 年秋には健康保険証を

廃止して「マイナ保険証」に一本化するとしています。

現行の健康保険証の廃止は、取得が任意であるはずのマイナンバーカードを事実上義務化させることになり、選択の自由と国民皆保険制度を壊しかねません。

国民皆保険制度は、「いつでも」「どこでも」「だれでも」、日本国内で等しく医療が受けられる制度です。健康保険証を廃止し、「マイナ保険証」を取得しない国民は「資格確認書」を申請しなければ、公的医療が受けられなくなります。

マイナンバー制度をめぐって、トラブルが頻発し、個人情報の漏洩など多くの問題が解決されず、いまだに全貌も明らかになっていません。

さらに世論調査ではマイナンバーカードの活用に不安を感じている人が 70% を越えています。医療機関においても大きな手間と混乱が起きています。拙速にことを運ぶのではなく、まずは立ち止まって、制度について見直しが必要です。

障害のある方、寝たきりの方や認知症の方など立場の弱い方々にとっては、マイナンバーカードの取得や更新手続きなどが困難です。

現行の健康保険証は原則交付とし、マイナンバーカードを保険証として使うかどうかは一人ひとりの国民の任意とすべきです。

したがって、和光市議会として、地方自治法 99 条の規定により、改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書を国に提出することを求めます。

令和 5 年 8 月 23 日

和光市議会議長

富澤啓二様

陳情代表者

住所 和光市 [redacted] [redacted]

氏名 [redacted] [redacted]

住所 和光市 [redacted] [redacted]

氏名 [redacted] [redacted]

住所 和光市 [redacted] [redacted]

氏名 [redacted] [redacted]

住所 和光市 [redacted] [redacted]

氏名 [redacted] [redacted]

他 481 名